

**(財)下高井郡山ノ内町和合会と「森林(もり)の里親契約」を締結
志賀高原『バンダイナムコの森』調印式典・記念植樹を実施**

株式会社バンダイナムコホールディングス

5月25日 バンダイナムコグループと財団法人下高井郡山ノ内町和合会の間で締結された長野県が橋渡しを行い森林の整備と利用に意欲を持つ地域と企業が連携して推進する「森林(もり)の里親促進事業」における「森林(もり)の里親契約」の調印式典が開催されました。

当日は、バンダイナムコホールディングス代表取締役社長・高須武男のほか、(財)下高井郡山ノ内町和合会理事長・佐藤正平氏、長野県下高井郡山ノ内町長・竹節義孝氏、長野県知事・村井仁氏に加え、バンダイナムコグループの社員約100名が参加。調印記念プレートの交換や、グループ社員によるヤマモミジ50本の記念樹を行いました。

この「森林の里親契約」により、バンダイナムコグループは志賀高原(長野県山ノ内町)の約47ヘクタールの森林の里親となり、ここを『バンダイナムコの森』として(財)下高井郡山ノ内町和合会が行う森林整備作業の費用を一部負担するほか、グループ社員による森林整備体験や自然体験など森林保護と理解に繋がる各種活動の場として活用する予定です。

※記念式典でのバンダイナムコホールディングス代表取締役社長・高須武男挨拶より一部抜粋

私たちは商品やサービスを通じて、「夢・遊び・感動」を世界中の人々に提供し続けることを企業理念とし、「世界で最も期待されるエンターテインメント企業グループ」となることを目指しています。今回の「バンダイナムコの森」につきましても、「夢・遊び・感動」を提供し「世界で最も期待されるエンターテインメント企業グループ」となるために、自然環境の保護という観点で何かできることはないか?ということがきっかけとなったものです。そして、このたび、皆様のご厚意もあり、長野県・志賀高原というこのような大変素晴らしい環境を活用させていただける機会をいただくことができました。

今後は、「バンダイナムコの森」の環境保全に努めるとともに、グループ社員にとっても森林保護の理解に繋がる場とさせていただきたいと考えております。



写真>バンダイナムコホールディングス高須社長(右端)、和合会佐藤理事長(左端)、竹節山ノ内町長(右中央)、村井長野県知事(左中央)